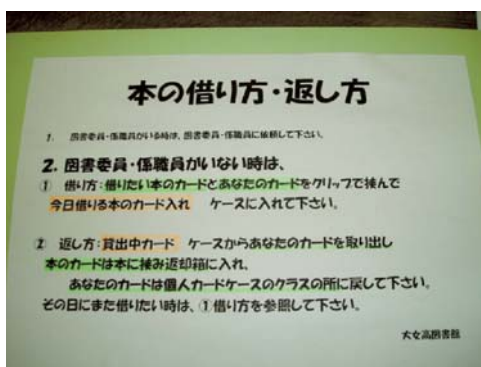


## 第7章 図書の貸し出しと返却

図書の貸し出しと返却に関する取組や工夫の例です。

### 1 図書の借り方・返し方に関する掲示

図書の借り方・返し方については、多くの学校で学校図書館のオリエンテーションの際に指導していますが、館内に掲示をすることで、利用方法について一層の周知を図っている学校もあります。



「本の借り方・返し方」の掲示(大女高)



「本の借り方・返し方」の掲示(聾校)

### 2 CASAの操作

真岡女子高校では、CASAの操作を、図書委員以外の一般の生徒にも認めています。借り手にとっては、図書委員などの第三者に書名を知られることなく、図書を借りることができ、プライバシーが守られるということから、貸し出しの増加につながっているようです。また、のぞわ特別支援学校や足利特別支援学校の小学部では、バーコードの操作を自分でできるのが楽しくて、図書を借りる児童も多いそうです。いずれも児童生徒のマナーの良さに支えられて、システムが活用されています。

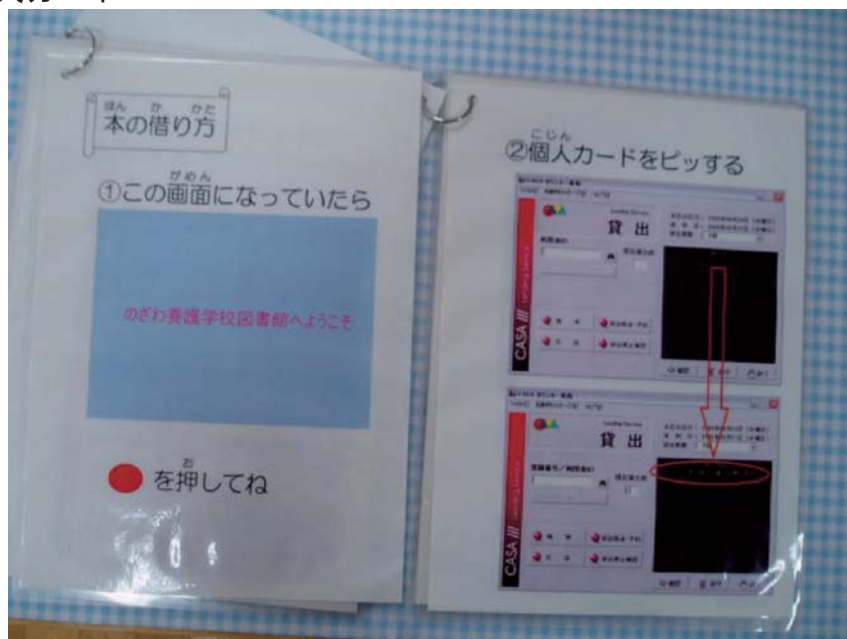
### 3 手書きの貸し出し簿や個人カード



図書委員ではない生徒も、各自で操作するCASA(真女高)



児童生徒向けのCASA操作マニュアル(足特校)

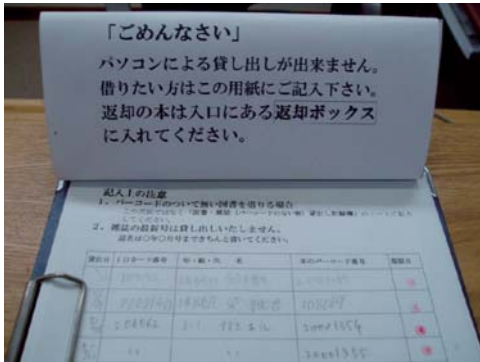


児童生徒向けのCASA操作マニュアル(のぞわ特校)

宇都宮東高校・附属中学校では、司書や図書委員が不在でCASAが使用できないときは、手書きの記入簿で貸し出しに対応しています。

大田原女子高校では、図書の貸し出し状況が一目で分かるようにするために、CASAを使った貸し出しと合わせて、従来の個人カードも併用しています。

これらの他、CASAに登録していない図書の貸し出しを、手書きの貸し出し簿で行っている学校が多数あります。



手書きの貸し出し簿(宇東高・附中)



個人の貸し出しカード(大女高)

#### 4 返却ボックス

多くの学校で、図書の返却用のポストや箱をカウンターに置いて、カウンターに担当者が不在の際にも返却を受け付けることができるようにしています。



「返却ポスト」(宇東高・附中)



「図書返却ボックス」(宇女高)



「返却BOX」(真女高)